

奥山 たえこ

完全無所属・元区議3期



プロフィール

●別府市出身。実家は八百屋で看板娘。
'81年 都立大学法学部 卒業。教育系出版社を経て、2003～2015年杉並区議（3期）。

●2017年一軒家を借りて、高齢者、シングルマザー、派遣社員など、アパートを貸りにくい人のためのシェアハウスを運営中（事業としては赤字）。

●趣味は焼きとり＋読書。性格は質実剛健。生ゴミ出さずに堆肥に変えるエコおたく。

奥山たえこ 検索



奥山たえこの政策

税金は 未来と福祉に使う。

①一人暮らし高齢者の課題—孤立と貧困

杉並区は、これから高齢者、なかでも一人暮らしが増えます。空き家も増えていきます。

女性の貧困・男性の孤立が心配です。

杉並区の高齢化率推移 (年-%)
1997 - 15.2
2002 - 17.2
2007 - 18.6
2012 - 19.9
2017 - 21.0

◆解決法：外出や交流の機会を増やす

ゆうゆう館（高齢者施設）で、映画を観る、音楽を聴く、

身体を動かす。そんな多種類の講座を増やして、参加を増やすことで、孤立を減らせます。

杉並の全世帯の内、 高齢者のみの世帯割合
1人暮らし—8世帯に1
2人暮らし—15世帯に1 (2015年国勢調査)

◆解決法：すまいを若者と分かち合う

一軒家に住む高齢者は、若者にお部屋を間借することで、倒れたらどうしようといった不安がやわらぎます。相性を取り持つNPOが人探しをします。

◆解決法：すまいの管理運営者の育成を

間貸しにも手間がかかります。でもご本人がするのは無理ですし、事業者に頼む費用も捻出できません。そこで管理業務者育成のための講座を創設します。

◆解決：立つ鳥跡を濁さず—おひとり様の終活事業創設

葬儀、携帯電話の解約、遺品の整理は、死後自分では出来ません。区を介して葬儀社に依頼する施策が、横須賀市などで出ています。

②少子化対策—若年男性に住まいを

所得の低い男性→結婚していない=少子化の一因です。区民がお家を安く貸すことで家賃負担が軽くなります（住宅セーフティネット法活用。管理は委託）。

③シングルマザーへの家賃補助

日本の母子家庭は、働いているのに生活が苦しいです（貧困率6割。全平均は2割弱）。短期間・少しの補助でも助かります。

④大型再開発道路の計画は見直しを

西荻窪駅東側の道路拡幅(11→16m)は見直しを。

⑤学校教員の仕事量の削減

⑥マイクロプラスチック対策

劣化した家庭雑貨も原因です。

⑦障がい者グループホームの設置と管理人の育成

⑧区の施設再編計画は見直しを

子どもから高齢者までを同じ施設でというのが区の計画。「多世代型」とスローガンは、聞こえがよいですが、そのための下地がまったくありません。

